

2021年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
外国語 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	15	単位	2
担当教員	William Jackson			実務 経験	有	職種	英語講師				
授業概要											
講師の英語を聴きながらのテキストの読み合わせ。分からない単語のメモ。授業後、次の授業までに意味の検索。画像、映像視聴。ダンス授業・レッスンで使用される英語歌詞楽曲を活用しての授業。											
到達目標											
具体的にはダンスパフォーマンスに役立つ、活用出来る英語の習得。声の出し方のボリューム・アップ。検索力の向上。国際的な活躍が出来るダンサーとしての語学力の基礎を作る。											
授業方法											
実用性のある英語を活用したコミュニケーション能力の向上。英語力習得の価値の理解。異文化に触れることでの多様性の理解。学校受験目的の勉強で起きてしまっている英語に対してのアレルギー反応の除去。技術の進歩によって、IQの向上よりEQの向上が合理的だと言うことの理解。（勿論IQ向上も大切ではありますが。）											
成績評価方法											
試験・課題 40% 試験と課題を総合的に評価する 成果発表 40% 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 平常点 20% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
教員と学生、学生間のコミュニケーションを重視。楽しい（得だ）と思ってもらうこと。押し付けないこと。腹落ちするまでの面談の実施も検討。進捗状況によっての後期での上方・下方修正。良い案を取り入れることに対しての柔軟性。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。オンデマンド授業講義を受講し課題を必ず提出する事。											
教科書教材											
毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス、テキスト Chapter10前半の実施										
第2回	ガイダンス、テキスト Chapter10の前半の復習、Chapter10後半の実施										
第3回	ガイダンス、テキスト Chapter10後半の復習、Chapter11の実施										
第4回	ガイダンス、テキスト Chapter11の復習、Chapter12の実施										
第5回	ガイダンス、テキスト Chapter12の復習、Chapter13の実施										
第6回	ガイダンス、テキスト Chapter13の復習、Chapter14の実施										

2021年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
外国語 2	
第7回	ガイドランス、テキスト Chapter14の復習、Chapter15の実施
第8回	ガイドランス、テキスト Chapter15の復習、Chapter16の実施
第9回	ガイドランス、テキスト Chapter16の復習、Chapter17の実施
第10回	英語実技発表2
第11回	総合的なまとめ
第12回	英会話術 1
第13回	英会話術 2
第14回	英会話術 3
第15回	英会話術 4